



倉敷木材株式会社
第69期
環境活動レポート

2009年7月26日～2010年7月25日



公表 : 2010年9月15日
改訂 : 2011年3月5日
改訂2 : 2011年4月12日

第69期
(2009年7月26日～2010年7月25日)
環境活動レポート

①組織の概要	3
②対象範囲	3
③環境経営理念・環境活動方針・トップメッセージ	4
④環境目標及び実績(事業所/建設現場)	5
⑤環境活動計画(事業所/建設現場)	6
⑥環境目標の評価及び今後の方針(事業所/建設現場)	7
⑦環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	8
⑧環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
⑨代表者による全体評価と見直しの結果	10
⑩連絡先	11
⑪参考資料(活動紹介)	11-13

※2011年3月5日の改訂項目

- ・P.4 従業員人数を最新の数字に変更
- ・P.6 下水道法についてのコメントを追加

※2011年4月12日の改訂項目

- ・「エコアクション21建設業向けガイドライン2011年版(暫定版)」
に対応し、項目の追加と順序を変更

《 組織の概要 》

『くらしの樹』

クラモクは、明治40年の創業以来、一貫して「木」を商材として扱ってきました。始めは国産材の良材供給より出発し、木造住宅の建築はもとより、住宅設備やアルミサッシ・木工家具等、様々な住まいの関連商品を扱い、「暮らしの相談センター」として活動してきました。それはあたかも「くらしの樹」という苗木が、時を経て根を張り、幹を太らせ、更に枝葉を広げたように思われます。これからもクラモクは、地域の人々に「心豊かな温かい暮らし」を提案し続ける事を願い、堂々とした大樹に育つ事を目指して行きます。

事業の概要: 木材・建材の販売、住宅建築、木の家具の製作・販売

事業所名: 倉敷木材株式会社

英文社名: Kurashiki Lumber Corporation

本社所在地: 〒710-8581 岡山県倉敷市中島1000番地1号

岡山ショールーム所在地 〒700-0977 岡山県岡山市北区問屋町21-103

代表者名: 代表取締役 大久保憲作

代表電話番号: 086-465-3322

代表FAX番号: 086-465-3346

代表E-mailアドレス: info@kuramoku.com

ホームページアドレス: <http://www.kuramoku.com>

クラモク建築センター 電話番号: 086-465-7700

クラモク建築センター FAX番号: 086-465-7709

クラモク建築センター E-mailアドレス: kuramoku@kuramoku.com

創業: 明治40年(1907年)

法人設立: 昭和22年9月5日 (1947年)

資本金: 3,000万円

従業員数: 68名(正社員54名・パート等14名)

※2011年3月5日現在

建設業許可: 岡山県知事許可(特)第3865号

一級建築士事務所: 岡山県知事登録第1986号

宅地建物取引業: 岡山県知事(10)第1392号

事業規模 : 69期(2009年度)売上 23億円

木のショールーム「暮らしらば倉敷店」



木材の普及のため、一枚板を展示



《 対象範囲 》

審査対象事業所: 倉敷木材株式会社本社及び関連事業所(岡山ショールーム)

エコアクション認証・登録の対象活動範囲: 木材・建材の販売、住宅建築、家具の製作・販売

③環境経営理念 / 環境活動方針 / トップメッセージ

《 環境経営理念 》

倉敷木材株式会社は、創業以来一世紀にわたって積み重ねてきた知識と経験を元に、再生可能な資源としての木と共にある暮らしを提案することを通して、持続可能な社会作りにも貢献します。

《 環境行動方針 》

1. 私達は、以下の環境方針に則り事業活動を行います。
 - 1) 環境負荷の少ない住宅資材販売及び住宅建築を推進します
 - 2) 事業活動に伴う使用エネルギー及び廃棄物の削減に努めます
 - 3) 環境保全のために森林や木材が果たしている役割について、地域にお知らせします
2. 私達は、環境関連の法律、規制、協定等を遵守するとともに、業務手順を整備して適正な処理を行います。
3. 私達は、環境活動レポートの公表及び地域の苦情・要望への対応によって、環境コミュニケーションの推進を図ります。
4. 私達は、全従業員を挙げて環境マネジメントシステムを推進し、継続的な環境改善に努めます。

策定：2008年7月25日

改訂：2010年9月14日

《 トップメッセージ 》

古来より森を守り、木を育て、木の家で木と共に暮らしてきた日本人。まさに日本の文化は木を大切にす文化だとも言えます。森の中で突然出会った大木に思わず手を合わせる。ふるさとの鎮守の杜でほっと心が休まるひと時を持つ。杉の障子に朝日が差し、部屋の中だけでなく心までもが温かい気持ちになったこと、ありますよね。ほんとうに、木の力とは自然の力。そして私たちの生活とはその自然の力をいただくことだと思えます。

クラモクは明治40年の創業以来、このように私たちの生活とは切っても切れない関係にある「木」を扱ってきました。適切に管理された森林から得られる木材を利用すれば、時間を経て森林は再生し、次の世代も再び森から恵みを利用できるのです。再生可能な資源である木を扱うことを職としていること自体、私たちには大変有難いことであると感じています。

そして2008年、創業101周年の迎えたのを機会に、クラモクは新たな一歩を踏み出すべく全社で「エコアクション21」の認証取得を目指して活動を始め、2009年7月31日に認証を取得しました。

エコアクション21の活動を通し、自社の業務に伴う環境負荷を低減させることはもちろん、クラモクがこれまで一世紀にわたって積み重ねてきた知識と経験を元に、木に関わる様々な事柄を皆様にお伝えし、ご提案することで、それぞれの木が持つ温もりや個性を感じてもらいたいと思います。そして一人でも多くの方に適切に木を利用いただくことで、結果として地球の森を荒廃から守り、地球温暖化防止の役に立ちたいと考えています。

代表取締役社長
大又保憲作

④環境目標及び実績(事業所/建設現場)

《 69期までの実績値及び70期以降の環境目標(事業所) 》

項目 (単位)	目標/ 実績	目標値・実績値※1				
		68期(08年度)	69期(09年度)	70期(10年度)	71期(11年度)	72期(12年度)
①(自らが施工・販売・ 提供する製品及びサービス) 長期優良住宅の建築 (棟)	目標 (対前年比)	5	10 (200%)	10 (100%)	10 (100%)	10 (100%)
	実績 (対目標値比)	14 (280%)	14 (140%)	-	-	-
②CO ₂ 排出量 (kg) ※排出係数 0.555kg-CO ₂ /kWh	目標 (対前年比)	313,024	370,009 (118.2%)	370,009 (100%)	370,009 (100%)	370,009 (100%)
	実績 (対目標値比)	370,009 (118.2%)	346,873 (93.7%)	-	-	-
③電力使用量 (kWh)	目標 (対前年比)	360,876	352,984 (97.8%)	352,984 (100%)	352,984 (100%)	352,984 (100%)
	実績 (対目標値比)	352,984 (97.8%)	292,571 (82.9%)	-	-	-
④ガソリン使用量 (L)	目標 (対前年比)	25,012	27,019 (100%)	27,019 (100%)	27,019 (100%)	27,019 (100%)
	実績 (対目標値比)	27,019 (107.6%)	28,574 (106%)	-	-	-
⑤軽油使用量 (L)	目標 (対前年比)	43,533	41,198 (100%)	41,198 (100%)	41,198 (100%)	41,198 (100%)
	実績 (対目標値比)	41,198 (94.6%)	43,687 (106%)	-	-	-
⑥水道使用量 (m ³)	目標 (対前年比)	861	807 (100%)	807 (100%)	807 (100%)	807 (100%)
	実績 (対目標値比)	807 (93.7%)	775 (96.0%)	-	-	-
⑦廃棄物排出量 (t)	目標 (対前年比)	687.84	679.88 (100%)	679.88 (100%)	679.88 (100%)	679.88 (100%)
	実績 (対目標値比)	679.88 (98.8%)	549.78 (80.9%)	-	-	-
⑧「暮らしと木の フェア」開催 (回数/人数) ※2	目標 (対前年比)	2/4,000	2/4,000 (100%)	2/4,000 (100%)	2/4,000 (100%)	2/4,000 (100%)
	実績 (対目標値比)	2/4,000 (100%)	2/4,500 (113%)	-	-	-
⑨「岡山の森を 訪ねる会」開催 (回数/人数)	目標 (対前年比)	1/28	1/28 (100%)	1/28 (100%)	1/28 (100%)	1/28 (100%)
	実績 (対目標値比)	1/34 (121%)	1/36 (129%)	-	-	-

《 69期までの実績値及び70期以降の環境目標(建設現場) ※3 》 ※3 68期-計32現場 69期-計22現場

項目 (単位)	目標/ 実績	目標値・実績値				
		68期 (08年度)	69期 (09年度)	70期 (10年度)	71期 (11年度)	72期 (12年度)
①1現場あたりの 総エネルギー投入量 (MJ)	目標 (対前年比)	-	24476.30 (100%)	24476.30 (100%)	24476.30 (100%)	24476.30 (100%)
	実績 (対目標値比)	24476.30 (-)	34624.31 (141%)	-	-	-
②1現場あたりの 温室効果ガス排出量 (Kg-CO ₂)	目標 (対前年比)	-	1623.5 (100%)	1623.5 (100%)	1623.5 (100%)	1623.5 (100%)
	実績 (対目標値比)	1623.5 (-)	2314.6 (143%)	-	-	-
③1現場あたりの 産業廃棄物排出量 (m ³)	目標 (対前年比)	-	12.2 (100%)	12.2 (100%)	12.2 (100%)	12.2 (100%)
	実績 (対目標値比)	12.2 (-)	16.0 (131%)	-	-	-

※1上記の目標値については対前年比で、実績値については対目標値比でパーセンテージを表記

70期～72期の目標値は、主に68期実績値を基準としているが、経営的な目標として毎年5%程度の売り上げ増を目標としているため、相対的な環境負荷は低下させる目標値となっている。

※2フェア当日会場でアンケートを配布・回収し、人数を集計する

⑤環境活動計画(事業所/建設現場)

《 69期環境活動計画(事業所/建設現場) 》

分類	取組項目・施内容		担当部署	担当者
自らが施工・販売・提供する製品及びサービス	国産材を使用した長期優良住宅の建築		住宅部	住宅営業
省エネルギー	電力使用量削減	節電表示の作成、確認	全部署	環境管理責任者
		エアコン設定温度の確認 (夏季目標26℃・ 冬期目標26℃)	全部署	EA21推進者
		昼間の不要照明の消灯、確認	全部署	EA21推進者
		不在事務所の消灯	全部署	EA21推進者
		残業低減策の実施	全部署	総務課長
	ガソリン・軽油の使用量削減	効率的な配達の実施	営業支援課	配送担当者
	水道使用量削減	節水表示の作成、確認	全部署	環境管理責任者
廃棄物の削減	分別・適正処理状況確認		総務部	EA21推進者
	各種廃棄物のリサイクル化による有効利用率向上 (処理先の見直し、木材・ビニール類・紙類・段ボール等)		営業支援課・ 総務部	EA21推進者
地域への環境普及活動	暮らしと木のフェアの開催 (2回/年)		全部署	フェア リーダー
	岡山の森を訪ねる旅の開催 (1回/年)		全部署	訪ねる会 事務局
法令順守	廃棄物処理法	焼却炉灰の品質測定 (灰処分時に行う)	加工センター	焼却炉責任者
	ダイオキシン類対策特別処置法	焼却炉 排ガス・焼却灰・ 煤塵中のダイオキシンの測定	加工センター	焼却炉責任者
	浄化槽法	水質測定	総務部	総務課長
従業員教育	環境方針の確認 (営業方針発表会時及び朝礼ごとに行う) 及び 新入社員教育		全部署	環境管理 責任者

⑥環境目標の評価及び今後の方針(事業所/建設現場)

《 69期の評価および今後の方針(事業所) 》

- ①長期優良住宅については、目標5棟に対して14棟を受注し、国産材の利用促進に貢献できた。
 - ②CO2排出量については、対目標値比93.7%となり、排出量削減を達成できた。
 - ③電力使用量については、対目標値比82.9%となり、使用量削減を達成できた。
 - ④ガソリン使用量および⑤軽油使用量については、ともに前目標値比106%となり目標を達成できなかった。原因として、小口配送の増加や、営業職員の増加が考えられる。
 - ⑥水道使用量については、対目標値比96%となり、使用量削減を達成できた。
 - ⑦廃棄物排出量については、対目標比80.9%となり、排出量削減を達成できた。
 - ⑧「暮らしと木のフェア」については、予定通り2回開催でき、参加人数も目標を上回った。
 - ⑨「岡山の森を訪ねる会」については、予定通り1回開催でき、参加人数も目標を上回った。
- 以上概ね目標値を達成しているため、今後も同様の取組を継続する。

《 69期の評価(建設現場) 》

- ①1現場あたりの総エネルギー投入量については、対目標値比141%となり、目標を達成できなかった。
- ②1現場あたりの温室効果ガス排出量については、対目標値比143%となり、目標を達成できなかった。
- ③1現場あたりの産業廃棄物排出量については、対目標値比131%となり、目標を達成できなかった。

《 今後の方針(建設現場) 》

建設現場については上記の項目いずれも目標を達成できなかった。その原因として、68期に比べて総現場数が32現場から22現場へと大幅に減少したため、1現場あたりの数値が増加した事や、工務スタッフが1名増加した事が考えられる。対策として、全ての建築現場に当社の環境メッセージと遵守事項を掲示し、現場スタッフの意識を高める。また今後適切な目標値の設定ができるよう、集計を継続して正確な数値を把握し、推移の把握に努めることとする。

《 建設現場の整備状況 》



全現場に環境方針を掲示



土留めをして周辺に配慮

⑦環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

《 環境活動計画の取組結果とその評価(事業所および建設現場) 》

取組項目・実施内容		取組状況の確認
(自らが施工・販売・提供する製品及びサービス) 国産材を使用した長期優良住宅の建築		14棟受注し、達成出来た
電力使用量削減	節電表示の作成、確認	実行し、不要な照明の切り忘れはほぼ無くなった
	エアコン設定温度の確認 (夏季目標26℃・冬期目標26℃)	実行し、設定温度も概ね守られた
	昼間の不要照明の消灯、確認	実行し、使用電力量は減少傾向にある
	不在事務所の消灯	実行し、使用電力量は減少傾向にある
	残業低減策の実施	実行し、主に土曜日の残業削減が出来た
ガソリン・軽油の使用量削減	効率的な配達の実施	実行しているが、燃料使用量が増加した
水道使用量削減	節水表示の作成、確認	実行し、水道使用量は減少傾向にある
分別・適正処理状況確認		実行し、問題は無かった
各種廃棄物のリサイクル化による有効利用率向上 (処理先の見直し、木材・ビニール類・紙類・段ボール等)		廃棄物処理先の検討や変更により、廃棄物処分量は減少傾向にある
暮らしと木のフェアの開催 (2回で4000人動員/年)		予定通り実行でき、参加人数も目標を上回った
岡山の森を訪ねる旅の開催 (1回で28人動員/年)		予定通り実行でき、参加人数も目標を上回った
廃棄物処理法	焼却炉灰の品質測定 (灰処分時に行う)	実行し、問題は無かった
ダイオキシン類対策特別処置法	焼却炉の排ガス測定および焼却灰の測定※	実行し、問題は無かった
浄化槽法	水質測定	実行し、改善項目に対応した
環境方針の確認 (営業方針発表会時及び朝礼ごとに行う) 及び新入社員教育		予定通り実行出来た

※69期は灰の処分は行わなかったため、焼却炉の排ガスの検査のみを行った。

《 環境活動の問題点と次年度の取組内容 》

- ・ エアコンの設定温度については、従業員の協力で概ね設定温度は守られた。
但し、2009年の夏は特に猛暑であったため、産業医の指導により熱中症予防を目的として一部で夏季の設定温度を緩和することとした。
- ・ ガソリン使用量が目標より増加した(数値はP.7参照)。
次年度は営業車内の荷物を整理して重量を軽くしたり、効率的な配達を実行することで低減を目指す。
- ・ 一基の浄化槽において、透明度が目標値より低かった。
清掃時に塩素系の洗剤を使用したことで、浄化槽内の微生物に影響があったと考えられる。
次年度は使用する洗剤に留意することとした。
また別の一基の浄化槽において、スカムの流出が認められたため、清掃を行った。
- ・ 下水道については、次年度以降、必要に応じて下水道法に対応した申請書類の確認と提出を行うことを環境活動計画(法令順守の項目)に加える。

⑧環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

《 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 》

法律	チェック内容			担当者	チェック結果 (期間：2009年8月～2010年7月)											
	項目	法定基準値	時期		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	マニフェスト	—	交付の都度	総務部 EA21推進者	適正	適正	適正	適正	適正	適正	適正	適正	適正	適正	適正	適正
	焼却灰中の水銀	0.005 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者							適正					
	焼却灰中のカドミウム	0.3 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者							適正					
	焼却灰中の鉛	0.3 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者							適正					
	焼却灰中の六価クロム	1.5 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者							適正					
	焼却灰中の砒素	0.3 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者							適正					
	焼却灰中のセレン	0.3 mg/l未満	灰処分時	焼却炉責任者							適正					
ダイオキシン類対策特別措置法	排ガス中ダイオキシン類の値	10 ng-TEQ/m ³ N未満	1月	焼却炉責任者							適正					
	焼却灰中ダイオキシン類の値	3 ng-TEQ/g未満	1月	焼却炉責任者							適正					
	集塵灰中ダイオキシン類の値	3 ng-TEQ/g未満	1月	焼却炉責任者							適正					
浄化槽法	水質検査	透明度7度/20度以上	7月	総務課長	※1											
下水道法	書類の確認と提出	—	接続時	総務課長						※2						

評価の結果

※1 一部透明度が不十分であったので、清掃を行った。

※2 加工センターが2010年1月下水道に接続した。

《 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 》

倉敷木材株式会社の事業活動において、現在の所法規制に対する違反や訴訟はありません

⑨代表者による全体評価と見直しの結果

《 代表者による全体評価と見直しの結果 》

1. 日 時

2011年3月29日

2. 内 容

エコアクション21の更新審査を受審するにあたり、69期の活動内容および70期前半の状況について評価を行った。

3. 評価結果

- ・国産材を用いた長期優良住宅の建築は、目標を上回るペースとなっており、環境面だけでなく企業の収益面でも良い影響を与えていると言える。
- ・環境活動を通し、社内においても徐々に節電意識等が高まっている。しかし70期の電気・紙・ガソリン・軽油については売上の増加もあり、使用量がやや増加傾向にあるため、再度注意喚起が必要である。
- ・以前に比べて、地域における近隣関係(ご近所付き合い)の希薄化等もあり、建設現場周辺におけるトラブルが発生しやすい状況にあると感じられる。従来以上に、残材の処理や片付け、また作業音やマナー等に留意し、周辺環境に配慮すべきである。

4. 見直し内容と今後の対応

- ・長期優良住宅の建築については引き続き推進していくものの、国の補助金制度の変更等により受注活動が大きな影響を受ける可能性がある。また、東北関東大震災による消費マインドの低下や物流の停滞が新築住宅の着工に大きな影響を与えることも想定されるため、制度の動向に常に留意しておく必要がある。
- ・節電に対する意識を再度喚起するため、社内各所の節電表示を追加する。
- ・建設現場における苦情が発生した場合は、エコアクション21活動における文書KM-R07を活用し、素早い対応を心掛けるとともに、部署内での情報の共有に努め、以後の苦情防止につなげることとする。

5. 代表者自身の行動について

- ・倉敷市による「倉敷市地球温暖化対策実行計画策定協議会」へ企業委員として参加し討議を重ねた(2009年9月28日～2010年12月22日、計8回)。結果、「クールくらしきアクションプラン 倉敷市地球温暖化対策実行計画」を作成した。当社はEA21取得の中小企業として意見を述べた。
- ・グリーンデイ2011の実行計画をスタートしている。
- ・2010年11月20日～21日の「暮らしと木のフェア」において倉敷市より電気自動車i-Mievを1台借り、来場者の移動を助け、ECO意識の向上に努めた。また、太陽光発電のPRも行った。

⑩連絡先 / ⑪参考資料(活動紹介)

《 連絡先 》

環境管理責任者
取締役 経営企画室長 大久保 陽平

事務局
総務部 総務課長 長浜 英明

〒710-8581
岡山県倉敷市中島1000番地1号
電話番号：086-465-3322
FAX番号：086-465-3346
E-mailアドレス：info@kuramoku.com

《 参考資料(活動紹介) 》

「暮らしと木のフェア」開催の様子

毎年春と秋に開催している、岡山県下最大級の木のイベント。
木材という自然素材の良さを参加者の方々にお伝えするとともに、端材利用の促進にも努めています。



端材を多数展示



一枚板や木の小物に触れて頂く



「マイ箸作りコーナー」も設置

「岡山の森を訪ねる旅」開催の様子

毎年夏に開催。岡山県北の新見市大佐山や新庄村を訪ね、地域の森林資源の有効活用大切さや、
林業について参加者とともに学んでいます。P.10～11で詳しく説明します。



原木市場で木材の勉強



2009年からは岡山県新庄村を訪問



広葉樹林を散策

⑪参考資料(岡山の森を訪ねる旅について1)

《 岡山の森を訪ねる旅 》



①



②



③

「岡山の森を訪ねる旅」も、早いものでもう9回目。昨年より、訪問先を岡山県新庄村に移し、毛無山周辺の森にある「ゆりかごの小径」を散策しながら、豊かな生態系について学んでいます。この森は、2008年に癒しの効果が認められる森林として「森林セラピー基地」に認定されています。

「木造の家を建てるので、木のふるさどを見てみたい」、「川の水がどこから来るのか知りたい」など、ツアー参加者たちの動機はさまざま。今回で4回目という方もいれば、初めての方もいます。そんな参加者たちを乗せたバスが、森林の手前にあるキャンプ場に到着すると、早速摘みだての美味しいプチトマトによる歓迎を受けました。ここから、それぞれ10人程のグループに分かれ、「新庄村森林セラピー協議会」の森林ガイドを先頭に、全長2kmの「ゆりかごの小径」へと、分け入って行きます。

ブナの原生林に広がる森林の中には、植林した人工林では見られない豊かな生態系が息づいています。珍しい山野草や昆虫、小動物などを見かける度に、ガイドは皆の足を止めて解説。中には、県のレッドデータブックに載るような希少な動植物も見受けられます。

県内最大級のブナ林に点在する天然杉の中には、県産木材の親木となる木もあります。その木々の間を縫うように流れるせせらぎは、県を南北に流れる旭川の源流。この森は、まさに岡山の木のふるさどであり、川のふるさどでもあるのです。



④



⑤

- ①参加者に新鮮なトマトを配りながら歓迎してくれる森林ガイドの皆さん
- ②ハンモックに寝転がると、森はまた違った表情を見せてくれます
- ③珍しい動植物を見かける度に、森林ガイドが説明をしてくれます
- ④自生する藤のツルは、ぶら下がってもびくともしません
- ⑤昔この地方で行われていた「たたら製鉄」の跡

⑪参考資料(岡山の森を訪ねる旅について2)



⑥

昼食の後は、ふれあいセンターで森の勉強会。県や村の職員の方が、森林の役割を手作りの実験装置で分かりやすく説明してくれます。森林には、木材を生産する他にも水を貯えたり、浄化したり、CO2を吸収するといった役割があるため、洪水や土石流を防止する天然のダムと温暖化防止の役割が期待されています。しかし残念ながら木材輸入の自由化をきっかけに国内の林業が衰退し、現在の日本の多くの人工林では間伐や伐採などの手入れがままならない状態に陥っています。

そんな状況を少しでも知ってもらい、林業の大切さを理解したうえで、もっと地元で育った木材に目を向けてもらいたいという思いから、当社は「岡山の森を訪ねる会」を継続しています。

参加者の方々も「楽しかった」「森林の大切さが良く分かった」「村の人々の温かいもてなしに感激した」などと感想を述べてくれました。



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



- ⑥岩を割って生える木。森はありのままの自然の姿を見せてくれます
- ⑦シュレーゲルアオガエル
- ⑧今ではあまり見かけなくなったオニヤンマが偶然頭に止まりました
- ⑨新庄村「がいせん桜」の通り
- ⑩木の実を使った楽しい工作の時間
- ⑪森の土と運動場の土が入られた手作りの実験装置。保水力や浄化作用の違いを実感できます
- ⑫作品と一緒に記念撮影